

チャレンジ鹿児島労働局（21年12月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島市山下町13-21

TEL 099-223-8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

11月の有効求人倍率は0.37倍で

前月を0.01ポイント上回る

鹿児島県の11月の有効求人倍率(季節調整値)は0.37倍となり、前月(0.36倍)を0.01ポイント上回りました。

新規求人倍率(季節調整値)は0.66倍となり、前月(0.63倍)を0.03ポイント上回りました。

新規求人数は前年同月比3.4%の増加となり、平成20年1月以来22ヶ月ぶりに増加となりました。

産業別では、建設業(14.9%増)は4ヶ月連続の増加、製造業(17.0%増)は2ヶ月連続の増加、運輸業、郵便業(10.4%減)は2ヶ月連続の減少、卸売業、小売業は17.4%の減少、宿泊業、飲食サービス業(0.5%減)は3ヶ月連続の減少、医療・福祉(1.9%減)は11ヶ月連続減少、サービス業(40.2%増)は4ヶ月ぶりに大幅な増加となりました。

新規求職者数は前年同月比12.4%の増加で、15ヶ月連続で増加となり、増加幅は大きくなりました。

新規常用求職者の態様別では、在職求職者(7.8%増)は再び増加となりました。また、離職求職者(15.9%増)は12ヶ月連続で増加、無業求職者(2.8%増)は再び増加となりました。

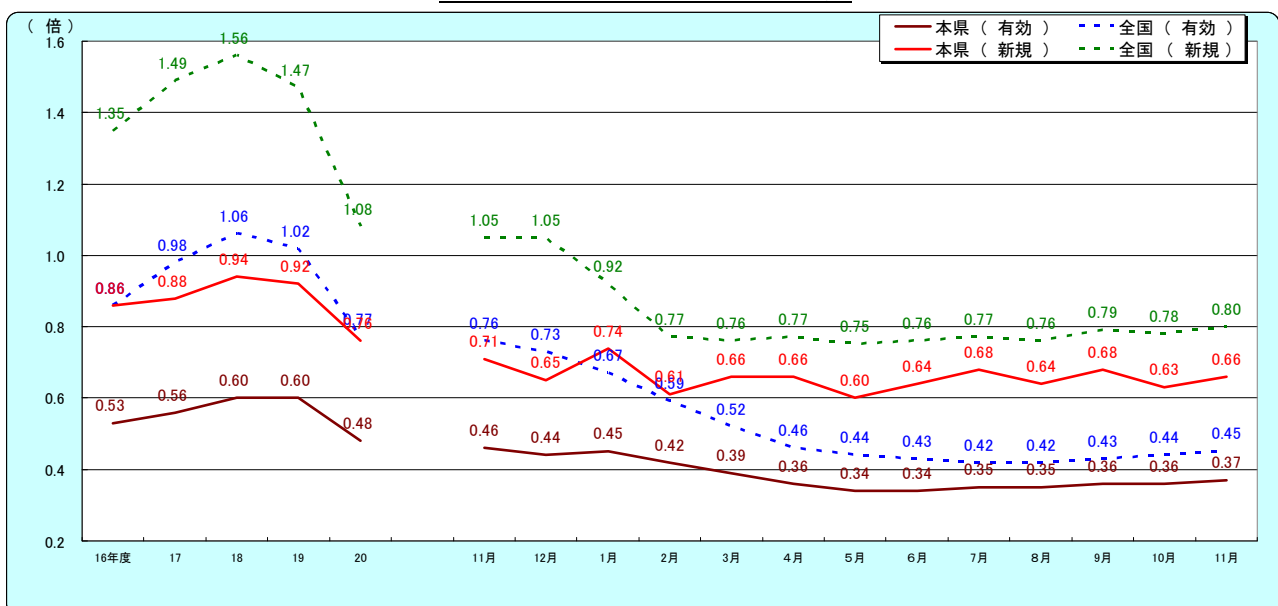
離職求職者の内訳では事業主都合離職者(35.2%増)は18ヶ月連続で増加し、自己都合離職者(8.3%増)は再び増加となりました。

政府の12月の月例経済報告では、景気の基調判断を、「持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が最高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。」と5ヶ月連続で景気判断を据え置いたものの、失業率は高水準で推移しているなど、雇用情勢については、「依然として厳しい」と報告されています。

鹿児島県の雇用情勢は、依然として厳しい状況が続くなか、新規求人は引き続き低水準で推移すると思われます。一方、新規求職は、雇用調整等に伴う離職者が今後も見込まれることから、全体としては増加傾向で推移するものと思われます。

鹿児島労働局では厳しい雇用情勢の下、雇用のセーフティネットとして、緊急的な支援措置、緊急雇用創造プログラムの推進を柱とする緊急雇用対策を積極的に活用し、雇用維持や再就職支援等に取り組み、今後とも一層効果的な行政の展開に努めて参ります。
(職業安定部職業安定課)

有効(新規) 求人倍率の推移



12月29日及び30日に、 ハローワークにおける年末緊急職業相談 を実施します

厳しい雇用失業情勢が続く中、先般、政府の緊急雇用対策本部において、「緊急雇用対策」がとりまとめられ、貧困・困窮者、新卒者への支援を最優先とした「緊急支援アクションプラン」が盛り込まれました。

鹿児島労働局では、これを受け、ハローワークにおいて職業相談や求人情報の提供等を行うことを通じて、求職者の雇用不安を軽減し、安心して生活が送れるよう、下記により「年末緊急職業相談」を開催することとしました。

記

◎ 開催日時

平成21年12月29日（火）及び30日（水）

10：00～17：00

◎ 開催場所

ワークプラザ天文館

（所在地） 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル6階

（電話） 099-223-8010

◎ 提供サービス

- ・ 職業相談、職業訓練に係る相談、求人情報の提供等
- ・ 公営住宅の情報提供、雇用促進住宅のあっせん等の住宅確保に係る相談
- ・ 総合労働相談